

第3回 WinActor初級者セミナー（2026/2/17開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
1	データ一覧	データ一覧を使って自動化する場合、自動でインポートするには起動ショートカットを作成して起動ショートカット内に定義する使い方だと思いますが、起動ショートカットを使わないで自動的にインポートする方法はありますか？	<p>起動ショートカットを使わずに、自動インポートする方法はありません。</p> <p>「データ一覧」を使う場合には、起動ショートカットでデータをインポートする方法でご対応ください。</p> <p>類似の方式として、「繰り返し」ノードで表形式のファイルを直接指定して読み込むことができます。ファイルパスを変数で管理することで繰り返し、表形式のファイルを処理することができます。</p>
2	ファイル操作	OneDriveに接続したフォルダにあるExcelファイルが閉じられない（全て閉じるは使える）のですが、これは仕様でしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OneDrive同期フォルダ上のExcelは、見かけはローカルパスで開けても、OneDrive側のURL形式のパスにリダイレクトされます。WinActorが“自分が開いたファイル”として確認できず、閉じられないことが起きます。 ローカルパス（C:¥Users¥...¥OneDrive¥...） URL形式（https://会社名-my.sharepoint.com/personal/ユーザ名/Documents/...）</li> <li>・対処としては、Excel側で表示される“URL形式のパス”を確認し、そのパスで操作します。 Excelファイルを開き、[ファイル] → [情報] を開き、「場所」に記載のパスを確認する。</li> <li>・「Excel(すべて閉じる)」はExcel全体(プロセス)を閉じるので動作したものと思われます。</li> </ul>
3	UI操作	自動記録、エミュレーション、画像マッチングどれを使ってシナリオを作成したかは、どこで確認できますか。	<p>部品のアイコンで判断できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動記録（IE/Win32） → マウスのアイコン</li> <li>・自動記録（Chrome/Edge） → 「VBS」、「Python」と書かれたアイコン</li> <li>・エミュレーション → マウスとキーボードのアイコン</li> <li>・画像マッチング → ウィンドウと虫眼鏡のアイコン</li> </ul> <p>自動記録の場合は、記録モードに応じた部品が規則的なノードの名や変数名で自動的に生成されます。しかし、ノード名や変数名が変更されることを考慮すると、結果（配置された部品）だけを見ても、手動で配置したのか自動記録で作成したのかを判別することはできません。</p>
4	UI操作	リスト選択をエミュレーションでキー操作したいのですが、操作対象としてそのリストを認識させるには、一度そのリストをクリックする操作を入れるのが良いでしょうか。（Tabキーだと直前にクリックした位置で、対象として認識されるボックスがまちまちになってしまいます）	<p>クリックしてフォーカスされるリストであれば、有効な方法です。</p> <p>一方、フォーカスされないリストでの場合は、フォーカスが確実に合う位置から、Tabキーでリストまで移動する作り方になります。アプリケーションごとに常に同じ位置でフォーカスが取れる基点を決めておくと、操作が安定します。</p> <p>他には以下の方法があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同梱ライブラリの「リスト選択」を利用する。</li> <li>・画像マッチングなどで対象要素をクリックした上で、キーボード「Alt+↓」でリストを移動する。</li> </ul>
5	UI操作	仮想デスクトップを利用するアプリで上手くシナリオ作成ができません。シナリオを作成するにあたり、どのノードを使うことが適切か分からない時があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想デスクトップ(=リモートデスクトップ接続)という前提でお答えします。 画面転送方式のシステムは構成要素を取得することができないケースが多くあります。 そのため、キーボードエミュレーションや画像マッチングの利用をご検討ください。</li> <li>・画面転送を行う環境の注意点として、画面配信・表示やキーボード・マウス操作の遅延が考えられます。 操作にあたり十分な待機設定を行うことが安定運用に重要です。</li> </ul>

第3回 WinActor初級者セミナー（2026/2/17開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
6	自動記録	ブラウザ画面に対して自動記録でシナリオを作成していく際に「値の設定(入力再現)」は利用できないのでしょうか。 自動記録で入力(値の貼り付け)操作を行うと「値の設定」ノードが生成されるのですが、サイトによっては「値の設定(入力再現)」でないと、入力した値が反映されないことがあります。	自動記録では「値の設定(入力再現)」は作成されません。 記録時に「値の設定」が作成された後、シナリオ実行時に値の反映が行われない場合、シナリオ編集にて「値の設定(入力再現)」と差し替え、実行をお試しく下さい。 ※「値の設定(入力再現)」はWebDriver利用時のみ使用できます。  ・参考 「値の設定(入力再現)」はJavaScript等の影響で「値の設定」での入力が反映されないサイトの操作で使います。 「値の設定(入力再現)」はWeDriverの特殊な機能を使用するため、拡張機能では使うことができません。 「値の設定」はブラウザ拡張機能やWebDriverの両方で利用可能です。
7	画像マッチング	画像マッチング後の分岐が上手くできたりエラーになったり安定しないことがあります。 何か試してみた方がいいやり方はありますか？	エラーの原因を切り分ける必要があります。 1.ウィンドウが見つからない場合 ウィンドウ名の変化や差分により失敗するため、識別ルールの緩和を検討します。 2.画像が見つからない場合 画面の読み込みが完了する前に判定していると、エラーになりやすくなります。  ・ログ出力で実行状況を確認する 実行時に何が起きているかを正しく把握することで、原因特定がしやすくなります。 ・画像マッチングのマッチ率を確認する（画像マッチングは成功し、分岐先で失敗する） 意図しない箇所を誤検知していないかを含め、適切な設定になっているかを確認します。
8	Xpath	w e b画面上で選択項目をクリックするとツリーが展開され、展開されたツリーの一つをクリックする際に取得したXpathが動的IDの場合クリックできません。 Xpathの指定方法やコツなど動的IDでもクリックできる方法はありますか？ 今のところ方法が無くて画像マッチングとエミュレーションの組み合わせで回避しています。	動的なIDであっても、「表示順が○番目」などの推測可能な特徴を持っている場合であれば、XPathの○番目の部分を変数で指定することでクリックできます。 また、XPathをフルパスで設定することでクリックできる場合がありますのでお試しください。 ブラウザ操作シナリオ作成マニュアル-「3.2 デベロッパーツール」を参照し、手順5.で Copy⇒Copy full XPathを選択ください  その他の方法として、タグやテキスト指定してクリックできるかを試す方法もあります。 以下のライブラリ名をご利用ください。 ・「指定タグの指定テキストをクリック」 ・「指定テキストをクリック」
9	トラブルシュート	ブラウザ操作のクリックライブラリ等で実行は問題なく行われるが プロパティの選択ボタンを押したときに 「ブラウザが起動していません。ブラウザ起動ボタンを押下してブラウザを起動し、対象となるURLを表示してください。」と警告文が出現するのはなぜでしょうか。 ウィンドウ識別を改めて選択し直せば「選択」ボタンは押せます。 なお、拡張機能利用で、対象ライブラリを部分実行でクリックが出来ているのに、プロパティの選択ボタンが押せない状態です。この場合でもWinActorの制御下にいないという判定になるのでしょうか。	「ブラウザが起動していません。」というエラー表示について このエラー表示は、「ブラウザ」ボタンをクリックした後、ブラウザが起動する前にプロパティ画面の「選択」ボタン(XPath選択ボタン)を押下することで発生していると考えられます。  「ブラウザ」ボタンでWinActorからブラウザを起動してから、「選択」ボタンをクリックください。 ※ブラウザ操作シナリオ作成マニュアル「3.1 Path選択ボタン」を参照  ちなみにウィンドウ識別で選択し直すと、 WinActorがブラウザの存在を認識するため、選択できる状況になります。

第3回 WinActor初級者セミナー（2026/2/17開催）

No.	カテゴリ	質問	回答
10	トラブルシュート	開発機でエラーの無かったシナリオが実行機ではエラーとなる。 実行機でエラーメッセージ等を確認したい。	開発機、実行機に関わらず、エラーメッセージは表示されます。 エラーが出た際には、以下のことをご確認ください。 1.実行機でもエラー内容を確認する 実行機にもエラーメッセージが表示されるため、必ず確認する。 2.ログを活用して原因を切り分ける ログ出力設定によりエラー情報を記録・確認できる。 3.切り分けを支援する仕組みを使う 「画面キャプチャ(デスクトップ)」ライブラリで画面の状況を記録・確認できる。 4.開発機と実行機の間隔差を確認・調整する 環境差が原因のことが多く、条件を揃えることが安定運用につながる。
11	トラブルシュート	対象の画面によると思いますが画面内の項目欄への値をセットする際、次々と進めると値が消えてしまう事があり、定着していないから…という意見を巷で見ますが、定着のさせ方が分かりません。 やむを得ず再度、項目セットする方式を取っていますが良い方法を知りたい。	・多くの場合、画面側の処理が完了する前に次の操作へ進んでしまい、入力した値が画面に正しく反映されていないことが原因です。 ・まずは項目への値セット後に、一定時間待機を入れるなどして、画面側の処理完了を待つように調整してみてください。 ・Webページの項目によっては、キーボード入力を前提としており、単純な値の設定操作では、値の入力が確定しないケースもあります。 その場合は、ブラウザ操作「値の設定」ではなく、「値の設定(入力再現)」を使い、人が入力するのと同じ動きを再現することで安定する場合があります。
12	運用・定着支援	市民開発推進担当として、シナリオ作成に行き詰ってしまった方・開発工数が確保できない方へのアプローチ方法があれば知りたいです。	行き詰ってしまった方・開発工数が確保できない方へのアプローチは、以下のようなことが挙げられます。 1.最初から完璧を目指さない 楽につくれて最も大きいところから着手します。 2.課題解消の見つけ方を共有する Copilot・ブログ・セミナーなど頼れる情報源を活用する。 3.仕事が奪われるという不安を解消する 残業は減っても、人の仕事は無くならない。※RPAに単純作業を任せて、人はより重要な作業に専念 4.一緒に取り組んで孤立化させない 現場に丸投げせず、サポートや実績を正しく評価することが大切です。
13	運用・定着支援	「プログラミング未経験」という表現はよく耳にしますが、Excelやスプレッドシートなどの表計算ツールの操作もほとんど経験がない、PC操作があまり得意でない方でも、実際にRPAを使いこなせているケースはどの程度ありますか。	・弊社が実施したユーザーアンケートでは、多くのお客様から「プログラミング未経験」と回答いただいております、通常の事務職員の方がRPAを活用している事例もあります。 ・一方でRPAはPC操作を自動化するツールのため、PC操作にあまり慣れていない方の場合、最初は一定のフォローがある方がスムーズです。 ・そのため最初のシナリオは販売パートナー様に作成を依頼し、運用方法のレクチャーを通じて、徐々にシナリオ作成を内製化していくといった段階的・伴走型の進め方もよく取られています。